

I T R - 1 0 0 1 B		I T R - 1 0 0 1 A		主な相違点
<b>・ 建物の環境及び構造・機能</b>				
- 1	延焼による被害を受けない措置を講じる。	- 1	建物は、外部からの火災による延焼等の被害を受けるおそれのない地域に設けるとともに耐火性能を確保すること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
		- 8	配線が防火壁等を貫通する部分及びこれに近接する部分には、延焼防止及び防煙の措置を講ずること。	配線は全ての配線として電源の項から建物の項に移動
- 2	外部から水の被害を受けない措置を講じる。	- 3	建物は、水の被害を受けるおそれのない地域に設けるとともに十分な防水性能を有すること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 3	地震の被害を受けない措置を講じる。	- 6	建物は、地震の被害を受けるおそれのない地域に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 4	振動による被害を受けない措置を講じる。			求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 5	電界及び磁界の被害を受けない措置を講じる。	- 4	建物は、電界及び磁界の被害を受けるおそれのない地域に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 6	落雷による影響を受けない措置を講じる。	- 5	建物は、落雷の被害を受けるおそれのない地域に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 7	腐食性ガス等による大気汚染の被害を受けない措置を講じる。	- 2	建物は、腐食性ガス等の大気腐食による被害を受けるおそれのない地域に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 8	不法侵入等の犯罪による被害を受けない措置を講じる。	- 7	建物の出入り口には、十分な強度を有する扉を用いること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
		- 8	空気調和機械室を示す表示は付さないこと。	
		- 2	サーバ室及びサーバ用データ等保管室を示す表示は、付さないこと。	
- 9	入退館管理を実施する。	- 1	出入り口は、できるだけ少なくし入退管理設備を設けること。	
- 10	災害及び犯罪を監視する措置を講じる。	- 2	防災・防犯及び電源、空調等の異常を常時監視する設備を設けること。	防災、防犯の監視を分離
- 11	電源設備、空調設備の稼働状況を監視し、異常を検知する措置を講じる。	- 4	稼働状況を確認する計器又は警報装置を設置するとともに、監視を行うこと。	設備監視と異常検知をまとめた
		- 6	稼働状況を確認する計器又は警報装置を設置して、監視すること。	
- 12	災害時に事業を継続するための措置を講じる。			新規
- 13	小動物、昆虫による被害防止の措置を講じる。	-36	小動物等による被害防止の措置を講じる。	小動物等による被害防止の措置一つにまとめ、建物全体として考慮するようにした
		-21	サーバ室は、小動物等による被害防止の措置を講ずること。	
- 14	情報システム等の搬出入経路を確保する。			新規
- 15	情報システム等設置場所の床は、総重量に耐える強度を確保する。	- 8	情報システム関連機器設置場所の床強度は、情報システム等の総質量に耐える強度とすること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
- 16	ネットワーク機器及びケーブル配線は、外部からの影響を受けない措置を講じる。	-42	ネットワーク装置を設置する場合は、避雷措置を講ずること。	ネットワークに関する外部環境の影響を一つにまとめた
		-24	サーバ、クライアント用端末機及びネットワーク装置からの電波放射による情報漏えいを防止する措置を講ずること。	
		-26	ネットワーク装置を設置する場合は、避雷措置を講ずること。	
- 17	ネットワーク機器を設置する室の内装及び備品は不燃材料又は準不燃材料とする。	-41	ネットワーク装置を設置する場合は、防災及び防犯措置を講じる。	防災及び防犯の内容を明確にした
- 18	ネットワーク機器及びケーブル配線は、特定者以外が容易に近づけない措置を講ずる。	-25	ネットワーク装置を設置する場合は、防災及び防犯措置を講ずること。	
- 19	ネットワーク機器の周辺に、適切な空間を確保する。			新規
- 20	ネットワーク配線は多重化し、専用の配線スペースに設ける。	-43	外部からの通信回線の引込口は、多重化し、専用とすること。	ネットワーク配線についてまとめた
		-44	ネットワーク配線は、専用の配線スペースに設けること。	
- 21	ネットワーク機器に安定した電源を供給する。			新規
- 22	ネットワーク機器を収容する筐体に、熱溜まりが生じない措置を講じる。			新規
- 23	ネットワーク機器の接地工事を行う。			新規
<b>・コンピュータ室・データ等保管室</b>				
- 1	外部からの浸水の被害を受けない位置に設ける。	-20	コンピュータ室及びデータ等保管室は、水の被害を受けるおそれのない場所に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 2	コンピュータ室は、振動による被害を受けない位置に設ける。	-45	コンピュータ室は、振動・衝撃による被害のおそれのない場所に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 3	コンピュータ室は、電界及び磁界の被害を受けない位置に設ける。	-38	コンピュータ室は、電界及び磁界の被害を受けるおそれのない場所に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 4	外部からの腐食性ガス等の被害を受けない位置に設ける。	-10	コンピュータ室は、外部からの腐食性ガス等の被害を受けるおそれのない場所に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 5	専用の室とする。	- 1	コンピュータ室及びデータ等保管室は、専用の室とすること。	-5のデータ保管を取り込み修正
		-5	重要なデータ等を収納するデータ等保管設備には、防犯対策を講ずること。	
- 6	通常利用する室の出入口は、特定者以外が利用する場所に直接面していない位置に設ける。	- 2	コンピュータ室及びデータ等保管室は、建築物の共有部分から直接入れない位置に設けること。	
- 7	不法侵入、危険物の投げ込みの恐れのある窓等の開口部は被害防止の措置を講じる。	- 4	コンピュータ室及びデータ等保管室は直接外部から被害を受けるおそれのない場所に設けること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 8	建築基準法に規定する防火区画とする。	-11	コンピュータ室及びデータ等保管室は、建築基準法に規定する防火区画とすること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
- 9	出入口の扉は、十分な強度を持つ防火戸等とする。	- 8	出入口の扉は、十分な強度を持つ防火戸等とともに、錠を取付けること。	扉の要件と入退室管理と錠取付けに関する事項を分離（ -29）
- 10	コンピュータ室には、非常口を設ける。	- 7	コンピュータ室には、非常口を設けること。	-
- 11	コンピュータ室は、運用に必要な空間を確保する。	- 6	保守点検及び災害時の非難に必要な空間を確保すること。	運用に必要な空間を明確にした
- 12	内装等是不燃材料又は準不燃材料とする。	-12	内装等是不燃材料又は準不燃材料とすること。	
- 13	什器、備品の主要部材は、不燃材料又は準不燃材料とする。	-13	什器、備品等の主要部材は、不燃材料又は準不燃材料とすること。	
- 14	ウイスカの発生する恐れがある部材は使用しない。	-35	コンピュータ室及びデータ等保管室にはウイスカの発生する恐れがある部材は使用しないこと。	
- 15	静電気の帯電を防止する措置を講じる。	-34	コンピュータ室及びデータ等保管室のフリーアクセス床、備品等には、静電気の発生又は帯電を防止する措置を講ずること。	求めている措置を明確にした
- 16	天井、照明器具、間仕切壁等及びフリーアクセス床は、地震により損壊しない構造とする。	-26	天井、照明器具、間仕切壁及びフリーアクセス床は、地震により損壊しない構造とすること。	
- 17	地震による移動及び転倒を防止する措置を講じる。	-29	地震による移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	求めている措置を明確にした
- 18	地震を感知し情報システム等の運転を制御する設備を設ける。	-28	地震を感知し、情報システム等の運転を制御する設備を設置すること。	
- 19	データ等保管設備には地震による移動及び転倒を防止する措置を講じる。	-30	データ等保管設備の地震による移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	保管物品を含めて対策するためまとめた
		-31	データ等保管設備内の記録媒体、ドキュメント等について落下、破損等を防止する措置を講ずること。	
- 20	什器、備品等の移動及び転倒を防止する措置を講じる。	-32	什器、備品等の移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
- 21	什器、備品等のガラスには、破損、飛散を防止する措置を講じる。	-27	ガラスには、破損、飛散及び落下を防止する措置を講ずること。	
- 22	外光による影響を受けない措置を講じる。	-33	コンピュータ室は、外光による影響を受けない措置を講ずること。	
- 23	携帯電話機、トランシーバはコンピュータ室に持ち込まない。	-39	携帯無線端末のうち、携帯電話機、高電力トランシーバは原則としてコンピュータ室に持ち込まないこと。	
- 24	コンピュータ、端末機及びネットワーク装置からの漏洩電磁波による情報の漏洩を防止する措置を講じる。	-40	コンピュータ、端末機及びネットワーク装置からの電波放射による情報漏えいを防止する措置を講ずること。	
- 25	コンピュータ室は、情報システム専用の分電盤を設置する。	- 1	情報システムの分電盤は、専用とし、それぞれ当該室内に設置すること。	情報システム専用の分電盤は 章から分離
- 26	電源設備が情報システム、関連設備及びデータ等に影響を与えない措置を講じる。	-25	電源設備は、室内に設置しないこと。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 27	コンピュータ室は、専用の空気調和設備を使用する。	-24	コンピュータ室及びデータ保管室は適切な温湿度を保つこと。	専用とすることを明確にして、そのための制御に関する事項は - 5 に移動
		-13	コンピュータ室は、専用の空気調和設備を使用すること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
- 28	空気調和機を設置する場合は、地震対策を講じ	- 1 -12	移動及び転倒を防止する措置を講ずること。 コンピュータ室及びデータ等保管室に、空気調和機を設置する場合は、周辺に防水堤を設け、かつ、防水堤の内側に漏水検知器（センサ）を設置すること。	コンピュータ室、データ等保管室に設置した空気調和機の室内での対策のみをまとめ、空気調和設備全体については 章にまとめた
- 29	出入口は、入退室管理設備を設け扉に錠を取付ける。	- 1	出入り口は、できるだけ少なくし入退管理設備を設けること。	入退管理に関する事項をここにまとめた
- 30	外部及び共用部分に面する開口部は、防災措置を講じる。	- 9	外部及び共用部分に面する窓は、防災措置を講ずること。	
- 31	発煙を早期に発見できる措置を講じる。	-14	コンピュータ室及びデータ等保管室は、煙感知器を用いた自動火災報知設備を設置すること。	
- 32	消火設備、消火器等を設置する。	-15	消火設備、消火器等を設置すること。	
- 33	排煙のための措置を講じる。	-16	排煙設備の設置等排煙のための措置を講ずること。	
- 34	災害時の避難、誘導を安全かつ迅速に行える措置を講じる。	-17 -18 -19	コンピュータ室及びデータ等保管室は、非常照明設備を設置すること。 誘導灯、誘導標識等を設置するとともに、必要に応じて避難器具を設けること コンピュータ室には、非常用電源を備えた非常電話、インターフォン等を設置すること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示 避難に関する事項をまとめた
- 35	直上階の床には、防水措置を講じる。	-21	コンピュータ室及びデータ等保管室の直上階の床板には、防水施工又は漏水等の検知措置を講ずること。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示
- 36	室内の配水管からの漏水防止措置を講じる。	-17	コンピュータ室及びデータ等保管室内に配水管を通さないこと。	求めている措置を明確にして、その対策は具体的な対策例として明示 -17を取り込み、追加の項とする。
- 37	室内に情報システムの運転に必要な水使用設備等を設置しない。	-22	コンピュータ室及びデータ等保管室内には情報システムの運転に必要な水使用設備を設置しないこと。	
- 38	水冷式コンピュータ、水冷式ラック等には漏水対策を講じる。	-23	水冷式コンピュータが設置されている場合は、冷却水配管の周辺に漏水検知器（センサ）を設置すること。	
<b>電源室</b>				
- 1	情報システムの電源は、専用とする。	- 5 -29 -30	情報システムの電源は、専用とすること。 サーバ用電源は、負荷変動の激しい機器との共用を避けること。 インターネット対応などオンライン対応を行っている場合は、受電系統の停電に対する措置を講ずること。	電源品質を確保するための要件をまとめた
- 2	情報システムの電源設備容量は余裕を持たせる。	- 2	情報システムの電源設備の電気容量は、機器の負荷を考慮して余裕を持たせること。	
- 3	配線には電磁遮蔽の措置を講じる。	- 9	情報システムの配線にノイズが誘導しないよう、電磁遮蔽の措置を講ずること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
- 4	電源設備は避雷措置を講じる。	-10 -32	電源設備は、避雷措置を講ずること。 サーバ用電源は避雷措置を講ずること。	
- 5	電源品質を確保する措置を講じる。	- 3	情報システムの電源設備は、電圧及び周波数の変動に対する措置を講ずること。	
- 6	設備不平衡による障害の防止措置を講じる。	- 6	三相3線式または単相3線式電源に単相機器を接続する場合は、設備不平衡率を考慮すること。	
- 7	情報システム等の電源の地絡を検知し、警報を発する措置を講じる。	-11  -12	漏電警報器を設置すること。  情報システムの電源設備は、ラインフィルタによる大地透過電流の発生を抑制する措置を講ずること。	大地透過電流、地絡に関する事項を統合
- 8	情報システムの接地を設ける。	-13	情報システムには、他の電気機器から発生するノイズの影響を防止するための接地を施すこと。	
- 9	地震による移動および転倒を防止する措置を講じる。	-14	電源設備の移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
- 10	専用の室とする。	- 1	電源室は、専用の室とすること。	
- 11	保守点検に必要な空間を確保する。	- 7  -31	保守点検及び災害時の避難に必要な空間を確保すること。  電源設備の保守点検及び災害時の避難に必要な空間を確保すること。	室と設備周りの要件をまとめた
- 12	建築基準法に規定する防火区画とし、容易に破壊されない構造とする。	- 2 - 3	耐火構造とすること。 容易に破壊されない構造とすること。	
- 13	出入り口には錠を取付け、入退の管理ができる措置を講じる。	-4  -1	出入口はできる限り少なくし、扉には錠を取付けること。  出入り口は、できるだけ少なくし入退管理設備を設けること。	
- 14	漏水による被害を受けない措置を講じる。	- 5 - 7	漏水のための措置を講ずること。 配水管を通さないこと。	
- 15	自動火災報知設備および消火設備を設置する。	- 6  -9	消防法に規定する消火設備、消火器等を設置すること。  自動火災報知設備を設置すること。	
<b>. 空気調和設備室</b>				
- 1	保守点検に必要な空間を確保する。	- 9  -35	保守点検及び災害時の避難に必要な空間を確保すること。  空気調和設備の保守点検及び災害時の避難に必要な空間を確保すること。	室と設備周りの要件をまとめた
- 2	空気調和設備の外気取入口及び排気口は、雨水が侵入しない構造とする。	-15	空気調和設備の外気取入口及び排気口は、雨が浸入しない構造とすること。	
- 3	地震による移動及び転倒を防止する措置を講じる。	- 1	移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
- 4	空気調和設備からの漏電を検知し、警報を発する措置を講じる。	-11  -12	漏電警報器を設置すること。  情報システムの電源設備は、ラインフィルタによる大地透過電流の発生を抑制する措置を講ずること。	大地透過電流、地絡に関する事項を統合

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
- 5	適切な空気調和方式を選定する。	-24	コンピュータ室及びデータ保管室は適切な温湿度を保つこと。	温湿度を保つための制御に関する要件をまとめた
		- 3	容量は、十分な余裕を持たせること。	
		-4	自動制御装置は、負荷変動に対して的確に反応するものであること。	
- 6	水冷式空気調和設備の水質管理及び水量を確保する措置を講じる。	- 5	自動制御弁には、バイパス装置を設置すること。	水冷式空気調和設備の水に関する要件をまとめた
		-7	冷却塔の水が凍結するおそれのある場合は、凍結防止措置を講ずること。	
		-8	タンク類には、必要に応じて液面警報装置を設置すること。	
		-14	コンピュータ室の空気調和設備は、水質を管理する措置を講ずること。	
		-16	湧水、災害時の断水等のおそれがある場合は、予備の給水を確保すること。	
- 7	加湿器の水質管理及び水量を確保する措置を講じる。	-16	湧水、災害時の断水等のおそれがある場合は、予備の給水を確保すること。	- 6 にまとめたことにより、加湿器に関する要件を分離した
- 8	屋外に設置される空気調和設備には、特定者以外が容易に近づけない措置を講じる。	- 2	外部の者が容易に近づけない措置を講ずること。	
- 9	配管及び断熱材等は、不燃材とする。	-11	配管、継手、ダクト、パッキン、ダクト用断熱材料、配管用断熱材料等は、不燃材料とすること。	配管周りをまとめた
		-36	空気調和設備の配管、継手、ダクト、パッキン、ダクト用断熱材料、配管用断熱材料等は、不燃材料とすること。	
-10	自動火災報知設備及び消火設備を設置する。	-10	ダクトが防火区画、耐火間仕切壁等を貫通する場合は、当該ダクトの貫通する部分又は直前に防火ダンパを設置すること。	消火に関する事項をまとめた
		- 6	消防法に規定する消火設備、消火器等を設置すること。	
		-9	自動火災報知設備を設置すること。	
-11	漏水の被害を防止する措置を講じる。	- 5	漏水のための措置を講ずること。	
-12	扉には、錠を取付ける。	- 4	出入り口は、できるだけ少なくし入退管理設備を設けること。	
		- 1	出入り口は、できるだけ少なくし入退管理設備を設けること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
<b>サーバ</b>				
- 1	外部からの影響を受けない設置環境とする。	- 9	サーバ室は、外部からの腐食性ガス等の被害を受けるおそれのない場所に設けること。	外部環境の影響を一つにまとめた
		-18	サーバ室は、外光による影響を受けない措置を講ずること。	
		-20	サーバ室及びサーバ用データ等保管室にはウイスカの発生する恐れがある部材は使用しないこと。	
		-23	サーバ室は、電界及び磁界の被害を受けるおそれのない場所に設けること。	
- 2	運用に必要な空間を確保する。	- 5	保守点検及び災害時の避難に必要な空間を確保すること。	
- 3	専用の区画とする。	- 6	サーバ室には、非常口を設けること。	室（出入口を含む）の要件をまとめた
		- 7	出入口の扉は、十分な強度を持つ防火戸等とともに、錠を取付けること。	
- 4	静電気の帯電を防止する措置を講じる。	-19	サーバ室及びサーバ用データ等保管室のフリーアクセス床、備品等には、静電気の発生又は帯電を防止する措置を講ずること。	
- 5	天井、照明器具、間仕切壁及び床は、地震により損壊しない構造とする。	-15	天井、照明器具、間仕切壁及びフリーアクセス床は、地震により損壊しない構造とすること。	
- 6	出入口、窓等は直接外部から被害を受ける恐れのない場所に設ける。	- 1	サーバ室及びサーバ用データ等保管室は、建築物の共用部分から直接入れない位置に設けること。	出入口、窓に関する要件をまとめた
		-3	サーバ室及びサーバ用データ等保管室は直接外部から被害を受けるおそれのない場所に設けること。	
		-8	外部及び共用部分に面する窓は、防災措置を講ずること。	
- 7	地震によるサーバ等の移動・転倒を防止する措置を講じる。	-16	地震による移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	地震対策に関する要件をまとめた
		-17	データ等保管設備の地震による移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
		-27	電源設備の移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
		-33	空気調和設備の移動及び転倒を防止する措置を講ずること。	
- 8	分電盤は専用とする。	-14	電源設備は、室内に設けないこと。	電源設備に関する要件をまとめた
		-28	サーバ用の分電盤は、サーバ室内に設置し分電盤内の通電する部分には、人が触れないような措置を講ずること。	
- 9	専用の空気調和設備を使用する。	-13	サーバ室及びサーバ用データ等保管室は適切な温湿度を保つこと。	空気調和設備に関する要件をまとめた
		-34	空気調和設備の自動制御装置は、負荷変動に応じて的確に反応するものであること。	

ITR - 1001B		ITR - 1001A		主な相違点
-10	出入口は、入退管理設備を設け扉に錠を取付ける。	-7	出入口の扉は、十分な強度を持つ防火戸等とともに、錠を取付けること。	入退管理に関する事項を分離
-11	発煙を早期に発見できる措置を講じる。	-10	サーバ室及びサーバ用データ等保管室には、煙感知器を用いた自動火災報知設備を設けること。	
-12	消火設備、消火器等を設置する。			新規
-13	什器、備品の主要部材は、不燃材料又は準不燃材料とする。			新規
-14	漏水の検知及び防水措置を講じる。	-11	サーバ室及びサーバ用データ等保管室の直上階の床板には、防水施工又は漏水等の検知措置を講ずること。	漏水対策に関する要件をまとめた
		-12	サーバの運転に必要な水使用設備を、サーバ室及びサーバ用データ等保管室に設けないこと。	
		-37	サーバ室及びサーバ用データ等保管室に配水管を通さないこと。	
-15	水冷式ラック等には漏水対策を講じる。			新規
<b>. 事務室</b>				サーバ、パソコンを使用して執務を行う室として新たに設けた。
-1	周囲の環境から影響を受けない措置を講じる。			新規
-2	電源は余裕を持たせる。			新規
-3	盗難対策を講じる。			新規
-4	適切な温度を保つ措置を講じる。			新規
-5	機器の配線は整理し保護する。			新規
-6	落下防止の措置を講じる。			新規